

時間をオーバーしており、また時間オーバーの合図があっても発言を止めない。ラウンドテーブル参加者も基本的なルールを厳守する必要がある。主張の内容では、その発言の語尾が「していただきたい」「お願いした」「理解してほしい」という要望や懇願で、監督官庁である厚生労働省に対する主張であった。内容も4検討課題について各発表者がそれぞれ自由に主張したりしていなかったりしていた。4課題に対して最初にすべて主張しても、それぞれの議論の際に傍聴者が正確にそれを覚えておくことは困難である。資料を充実させるか、口頭で述べられた主張が視覚的に会場でその場でみなが見ることができ、共有できるようにする必要があると考える。4つの検討課題（リスク評価、対象魚種、有用性と風評被害防止、報道、その他）それぞれに何について議論をするのか不明確であった。そして、目的などが視覚的に常時示されておらず、何について議論をしているのかわからなくなることもあった。当日主催者側が実施した質問紙調査によれば²⁾参加者の参加目的は「注意事項の見直しの内容を知るため」としたものが最も多く（70.2%）であり、次いで「リスクコミュニケーションの取り組みについて知るため」（47.8%）であり、いわゆるリスクコミュニケーションの実施には至らない。冒頭の各ラウンドテーブル参加者の主張と議論から、関係者間において立場と考え方に違いがあることを認めるような相互理解や調整可能な部分を見つけ、妥当な方策を探ろうとする姿勢は見られなかった。

傍聴席からはラウンドテーブル発言者の声が聞き取りづらい時があった。また傍聴者からやじが飛び、傍聴者としてのマナーが守られていなかった。また傍聴者からの発言では、立場（所属）

や名前を名乗らないものが見られた。そして傍聴席からとラウンドテーブル参加者からと発言を求めるテーマが同じであったため、ラウンドテーブル参加者からの主張と傍聴者からの主張をどのように取り扱うのか明確でなく両者の違いは何であるのか理解できなかった。ラウンドテーブル参加者および傍聴者に、リスクコミュニケーションに参加するときにはそのルールを示しそれを遵守することが前提であることを示す必要がある。また、会場にいるすべての人が目的にそって議論が進むような配慮がなされなければならないと考えられた。

これまでの観察から、リスクコミュニケーションがこれまでの公聴会などと異なるものであることを参加者が認識し、それが円滑に実施されるためのハンドブック作成及び評価のためのチェックリストなどの作成が必要であることが示唆された。

参考文献

1) 平成15年度厚生科学研究報告書「健康保護を目的とした食に関するリスクコミュニケーションのすすめ方に関する研究」

2) 厚生労働省ホームページ <http://www.mhlw.go.jp/topics/bukyoku/iyaku/syoku-anzen/iken/040917-1e.html>

D. 健康危機情報

該当しない。

E. 研究発表

なし

F. 論文発表

なし

平成 16 年度 厚生労働科学研究補助金（食品の安全性高度化推進研究事業）
健康保護を目的とした食に関するリスクコミュニケーションの進め方に関する研究
リスクコミュニケーションの視点にたったWebサイトの在り方の検討

分担研究者 堀口逸子（順天堂大学医学部公衆衛生学教室）

研究協力者 野村真利香（順天堂大学医学部公衆衛生学教室）

研究要旨

厚生労働省ホームページの「食品安全情報サイト」を対象として、Webサイト制作専門家による課題分析を行った。そしてその結果を基にして、学識経験者、メディア関係者などを構成メンバーとしたグループディスカッションを行った。その結果デザイン性の課題と、HPの内容の運用の課題の大きく2つがあると考えられた。緊急情報については、その出し方、引き方が決められていないことが考えられた。またその判断をするのが誰であるのか確定することの重要性が指摘された。

A. 目的

正確な情報の発信者としての厚生労働省のホームページについて、リスクコミュニケーションの視点からその在り方を検討する。

B. 対象と方法

厚生労働省ホームページの「食品安全情報サイト」を対象として、Webサイト制作専門家による課題分析を行った。そしてその結果を基にして、学識経験者、メディア関係者などを構成メンバーとしたグループディスカッションを行った。

C. 結果および考察

HPはその情報の対象を誰においているのか、作成目的は何なのか（公開の義

務なのか）がわからないことが上げられた。デザイン性の課題と、HPの内容の運用の課題の大きく2つがあると考えられた。緊急情報については、その出し方、引き方が決められていないことが考えられた。またその判断をするのが誰であるのか確定することの重要性が指摘された。

Webサイト制作専門家からは、問題点として①色づかい、②文章表現、③コンテンツ、④サイトの使いやすさ、⑤マルチメディア・コンテンツの視点、⑥ユーザー環境の6項目があがった。そして、それぞれチェックポイントとして4、10、4、8、4、4の合計34ポイントがあがった。

そしてそれぞれに対して

①文章表現

「緊急情報」に対して、

- ・ その基準がどの程度か、何が緊急なのか、誰にとっての情報なのかがわからない。
- ・ 一般市民にとっては題名さえわからない

との意見が聞かれた。

「コンテンツ」については、

- ・ サイトマップがないのでひとつひとつリンクをたどっていかなくてはならない。
- ・ 「事業者」「消費者」などのポータルが一番下にあって見づらい。トップに持ってくるだけでも全然違う。
- ・ その情報が必要な人のためのものなのである程度は仕方がない。
- ・ 最初はもっと単純だったが、充実をはかるつもりが使いづらくなってしまったのではないか。
- ・ これは迷子になる。
- ・ 毎日厚労省のページはチェックするが、食品安全情報のページに到達できなかったことがない。
- ・ PDF は便利。ダウンロードしてあとも見ることができるため。
- ・ あまりマンパワーがかけられないだろうから、これが限界かもしれない。

④ サイトの使いやすさ

- ・ 食品安全委員会の HP は見やすいので参考にしてほしい。

- ・ 食品安全委員会の HP はデザイナーに頼んでいるらしい。

- ・ ページの下のほうに実はたくさん情報がある。

⑤ マルチメディア・コンテンツの視点、

⑥ ユーザー環境

- ・ 厚生労働省がフラッシュを入れるようになるとは思えない。
- ・ 情報を扱う人間がコンテンツを扱う場合が多い。

との意見が聞かれた。

D. 健康危機情報

該当しない。

E. 研究発表

なし

F. 論文発表

なし

G. 分析協力

株式会社モーク・ワン

項目	チェックポイント	狙い見解	総合見解
色使い等に関するポイント	<p>色わけなどによる表現を多用していないか？ (白黒2階調でもわかるような表現になっているか？)</p> <p>四角や丸など囲み線を使って表現しているか？ (白黒2階調でもわかるような表現になっているか？)</p> <p>背景色と文字色にコントラストの差が少ない色使いをしていないか？ (例) 背景色：白／文字色：黄色、背景色：白／文字色：水色など</p> <p>背景色と文字色に補色に該当する色使いをしていないか？ (例) 背景色：緑／文字色：赤、背景色：黄色／文字色：水色など</p> <p>文章中の略語や頭字語に対しては、その言葉が最初に出てくるところで正式名称(省略していない状態の言葉)を明示しているか？</p> <p>デザインや色使い、文字サイズの設定がない状態でも把握できるような文章構成/文章構造になっているか？</p> <p>情報やコンテンツの分類/グループ化/カテゴリ分けなどが分かりやすいか？ (まとまりによって構成される情報を適切にまとめているか？)</p> <p>必要な情報かどうかをすぐに判断できるような文章構成をしているか？ (見出しや段落、リストなどで特微的な情報や主題を最初にかかれているか、など)</p> <p>1つの文書が複数のページにわけられてはいないか？ (章/節/項などは複数ページにまたがってもよいが、細小構成単位の文章では複数ページにまたがない)</p> <p>WEBサイト内で、同じ事や物を違う言葉などで表現していないか？</p> <p>音声読み上げソフトに対応したページの場合、ソフトに通した文章記述がなされているか？(音声読み上げソフトでは意味不明な内容になっていたりしないか？)</p> <p>1ページで提供する情報量は、ユーザーが把握しやすい量とまとまりになっているか？</p> <p>1ページで提供する内容や情報量は、印刷のことも考慮されているか？ (印刷でかからずとも1ページ内におさまる必要はないが、...)</p> <p>欲しい内容のページのみを印刷のことが可能か？ (ページ内リンクをばり、複数の情報が1ページ内におさまっていないか？)</p>	<p>リンク先は、色変えによるものが大半で囲みなどによる区別が少ない(M1 営業 企画)</p> <p>トップページの色使い(背景：白／文字色：水色)はコントラストが低く視認しづらい。液晶モニタなどではさらに見づらくなる。(TM2nd システムプランナー)</p> <p>モノクロでプリントアウトすると、更に読みづらくなる。(IRCC)</p> <p>色使いが不明確かつ非常に読みづらい。→「食品」のコーナーであるにもかかわらず「シアン(水色)」を基調にするのは不自然。(M1 デザイナー)</p> <p>リンク色、背景色のコントラストが足りなく色覚特性(第二色覚・緑)および(第三色覚)の基準に達しておらず、改善が必要。(T&M webデザイナー)</p> <p>リンク先ページの管轄の問題もあると思うが、テキストで表現されているページでの文字サイズや色使いあるいは戻出しの付け方などの統一がとれておらず、情報のレベル/階層/ナビオリティが判断しづらく感じる。結果的に散漫な情報を受けている印象になる。(TM2nd システムプランナー)</p> <p>文章が長文・難解で内容が理解しづらい ex「このホームページの探し方」→口語体+箇条書きを交え簡潔・明瞭に構成しては？ (M1 コピーライター)</p> <p>「食品関係用語集」内に検索機能がない、解説文がわかりづらい (M1 コピーライター)</p> <p>グループページが分かりにくく、ページ中の項目エリアが曖昧になっている。(T&M webデザイナー)</p> <p>情報のカテゴリが不明瞭 ex「最新のお知らせ」「緊急情報」「新着情報」の違いが不明瞭。要タイトル変更？ ex「緊急情報」→「通知」「研究結果」「お知らせ」など、情報の性質が判別できる小見出し(アイコン等)を設けては？ (M1 コピーライター)</p> <p>分類された情報のレイアウトもわかりづらい(ユーザーに情報の入り口がどこにあるのか、すぐに認識できない)(TM2nd システムプランナー)</p> <p>記載されている内容で日付の昇順のものとは降順のものがあり、探しづらい。(M1 営業 企画)</p> <p>「このホームページの探し方」という表現が何を指すか分かりづらい(T&M webプランナー)</p> <p>「緊急情報」「最新のお知らせ」「新着情報」と似たようなタイトルのカテゴリが別々にあり、重複してて分かりにくい。(T&M webプランナー)</p> <p>「緊急情報」なのに昨年の情報まで掲載されている。このため情報量が多くなり、分野別施策や消費者向け情報などのメインコンテンツがトップページの下方にあり、サイトの全体構成が把握しにくい。(T&M webプランナー)</p>	<p>全体として白地に水色の文字の文字は視認性が高いとは言えず、利用者にとつて見やすいものではない。 モニターもブラウン管、液晶モニター(バックライトあり、バックライトなし)など多種にわたっており、それぞれの特性を理解した上で色彩デザインを行う必要がある。また色を補完する点から下線や囲み文字などを有効に活用することも必要である。</p>

項目	チェックポイント	選別基準	総合見解
テキスト表現／ 文章構成に 関するポイント	「分野別施策」は、3つのコラムの幅がばらばらで見づらい。その他は各リンクが運って書かれており、分かりづらい。(T&M webプランナー) 語彙の不統一が散見している ex.「あり方」「在り方」、「取り扱い」「取扱い」 ex.「Q&A」→「〜」に関するQ&Aと「〜」について「Q」が混在 (M1 コピーライター) 「食品安全情報」の中で自分が行きたい箇所がどこにあるのか分かりにくい → 現在マスクミで報道されている事項毎に「タイトル」をつけるべき 例) (BSE問題について) (スキヒラタケについて) (残留農薬について) …(M1 デザイナー) メールアドレスに制作者(主体)名を明記? (M1 コピーライター) トピックスに日付けがある場合とない場合があり、日付けがテキストに含まれているため、見にくい。(T&M webプランナー) 厚生労働省のサイトであることが解る表示(ヘッダやフッタ)がなく信頼性に欠ける。(T&M webプランナー) すべての情報が必ずしも適量とは言えない。(権力、内容を簡潔にして文量を揃えることが望ましい。)(IRCC) 色数が多ければよいわけではないが、デザインが平坦な性もあり、厚生労働省として、何処を強く伝えたいのかが不明瞭。(M1 デザイナー)	「分野別施策」は、3つのコラムの幅がばらばらで見づらい。その他は各リンクが運って書かれており、分かりづらい。(T&M webプランナー) 語彙の不統一が散見している ex.「あり方」「在り方」、「取り扱い」「取扱い」 ex.「Q&A」→「〜」に関するQ&Aと「〜」について「Q」が混在 (M1 コピーライター) 「食品安全情報」の中で自分が行きたい箇所がどこにあるのか分かりにくい → 現在マスクミで報道されている事項毎に「タイトル」をつけるべき 例) (BSE問題について) (スキヒラタケについて) (残留農薬について) …(M1 デザイナー) メールアドレスに制作者(主体)名を明記? (M1 コピーライター) トピックスに日付けがある場合とない場合があり、日付けがテキストに含まれているため、見にくい。(T&M webプランナー) 厚生労働省のサイトであることが解る表示(ヘッダやフッタ)がなく信頼性に欠ける。(T&M webプランナー) すべての情報が必ずしも適量とは言えない。(権力、内容を簡潔にして文量を揃えることが望ましい。)(IRCC) 色数が多ければよいわけではないが、デザインが平坦な性もあり、厚生労働省として、何処を強く伝えたいのかが不明瞭。(M1 デザイナー)	緊急情報、新着情報、最新のお知らせなどに代表されるように各項目に明確な区分がなく、基本的などこに何が記載されているかが分かりづらい構造となっている。各種情報を発表のままにweb上に記載されているため、「掲示板」にとどまっておらず、文章を読み解かなければ利用者が欲しい情報がどこにあるかを探すこともできない。また掲載に際しても日付の古い順に配列されているもの、新しい順番に配列されているものが混在するなど、制作でのルール統一が徹底されておらず、利用者にとって使い勝手の悪いものとなっている。このwebで今何をもう一つも強く伝えたいのかが見えてこない。
コンテンツの 表現に関する ポイント	図表や写真などを効果的に使い、内容を分かりやすく表現しているか? 画像や文字、画面などの点滅や明滅を多用していないか? リンクのはらわれている画像やテキストはその機能や行き先が分かりやすく表現されているか? HTML文書には、その文書を要約するよう固有の固有のタイトルがついているか? (ブラウザのタイトルバーに表示される内容など)	テキストが多すぎて、尻にくい情報になっている。ビジュアルが少なくタイトルの立たせ方や画像の使い方が良くない。(T&M webデザイナー) 写真や図表も増やすことで数段分かりやすいものになると思われます。(M1 デザイナー) ナビゲーション機能が不十分。トップページに設置されている入り口にも配慮が必要。(たとえば、消費者向け情報と事業者向け情報のボタンは上方へ)(IRCC) ボタンが否かわかりづらい ex.「最新のお知らせ」(M1 コピーライター) リンク色が2通り存在しておりテキストかリンクボタンなのか判断がしにくい。(T&M webデザイナー) リンク先が食品安全情報以下のコンテンツなのか外部管轄のコンテンツなのかかわかりづらく、リンク先のページが表示されてからでないと判断できない。(TM2nd システムプランナー) TOPページ左にある「最新のお知らせ」画像がどこを指しているのかわからない、思わず押してしまった。(TM2nd 制作代行) リンクテキストの大半が通常テキストと同じ黒のライン無しで設定されており、リンクと認識できない(T&M webデザイナー)	「音声読み上げ/文字拡大サービス」利用を考慮した上でのweb作成は理解するが、テキスト量が多すぎて非常に地味な印象を与えている。 各種統計資料などはグラフ・写真・イラストなど図表を入れ分かりやすさを図るべきと考える。また他のwebにリンクされている場合も、リンクボタンなのか、普通のテキストなのか分からないものもあり、表現の統一がされていない。 消費者向け情報、事業者向け情報のボタンがページの一番下、すなわち長大なページを一つ一つスクロールしていかなくては気がつかない場所に設置されるなど、利用者本位であるべきwebが設置者本位であるように感じられる。

項目	チェックポイント	鑑別基準	総合見解
コンテンツの表現に関するポイント	<p>ユーザーの意図に関係なくページを移動したり、別ウインドウを立ち上げるようなつくりをしていないか？(自動的に別ページへ移動してしまうようななしに別ウインドウが多数立ち上がる など)</p> <p>リンクのはられている画像やテキストは操作(クリックなど)しやすいか？</p> <p>Flashなどで制作したコンテンツのボタンや制御部品などは操作しやすいか？</p> <p>ページ内を移動した際に、迷子にならないか？(自分が見ているページの位置が把握しづらい、など)</p> <p>表示しているページの位置を把握できる仕組みがあるか？(ナビゲーション的機能が用意されているか？)※ナビゲーション:WEBサイト内のメニューやカテゴリなど、ページの移動や表示しているカテゴリなどが把握できるもの</p> <p>トップページへ必ず戻れるリンクが用意されているか？</p> <p>サイトマップが用意されており、どのページからも必ずサイトマップを表示することができるか？※サイトマップ:サイト内の構成を表現したページ。リンクにより、該当するページへ移動が可能</p> <p>サイト内のどのページでも、ほぼ同様の操作機能により閲覧することが可能か？</p>	<p>トップで、似たような作りの「緊急情報」と「トピックス」だが、「緊急情報」は日付はリンクに合せず、「トピックス」では含む。統一すべき。(T&M webプランナー)</p> <p>リンク先でリンク元のページに戻れない場合があり、非効率的な情報閲覧となってしまう。(TM2nd システムプランナー)</p> <p>リンクの文言と、リンク先のページのタイトルの一致していないため、迷うことがある。(TM2nd システムプランナー)</p> <p>ページのナビゲーション「戻る」が必ずしも直前に見えていたページへのリンクではないため自分の場所を見失いやすい(T&M webデザイナー)</p> <p>移動したページからトップページに戻れない (M1 コピーライター)</p> <p>現在表示されているページの、サイト内での位置が不明瞭 (M1 コピーライター)</p> <p>厚生労働省ホームページの中の何処にしているのが分からない。</p> <p>ユーザーサイトであっても「サイトマップ」があるべき。(M1 デザイナー)</p> <p>TOPからリンクしたページに共通ナビゲーションがないので、ページ間の横の移動が出来ない。(TM2nd 制作進行)</p> <p>リンク先で迷子になる(どこのカテゴリのどの情報、あるいは外部管轄の情報にアクセスしているかわからない (TM2nd システムプランナー)</p> <p>メインとなるコンテンツのメニューがどこにあるのかわかりにくい、「このホームページの探し方」があるが、直感的に使用できる構成になっていない。(T&M webデザイナー)</p> <p>閲覧の明確な目的がない場合、トップページからの順番に見よいかかわりづらい(M1 営業・企画)</p> <p>共通のヘッダ、フッタ情報が必要であるがほとんどのページに存在していない。(T&M webデザイナー)</p> <p>目次ページに戻らないと他のコーナーに移動できない (M1 コピーライター)</p> <p>「分野別施策」「パブリックコメント」など 戻るボタンがない。(M1 営業・企画)</p> <p>トップからリンクして行った先のページから「戻る」以外、他のページへ進めないので使用にくい。「戻る」さえもないページもある。(T&M webプランナー)</p> <p>ユーザーが見ているページがサイト内のどの位置にあるのかを確認する機能(ナビゲーション)がない。(TM2nd システムプランナー)</p>	<p>サイトマップが設置されておらず、今どの階層にしているのかが分からない。「戻る」ボタンを押してもトップページへ戻ってしまい、前にみていたサイトを再訪しづらいなどで、常に同じようなページばかり堂々巡りしているという印象を覚える。</p> <p>サイト内検索を行うにも条件指定が難しく、目的事項・項目へたどりつけないことが多い。</p> <p>サイトのナビゲーションが整っていないため、同一サイト内でも下層ページ間での移動ができない、他のwebへリンクにより飛んだ後今までの自分の見ていたサイトへ戻れないことがある。ポップアップ他画面にて知りたい情報を並行提供する表示方法への変更なども考えたい。</p> <p>webの基本的構造・構築に際しての設計を再検討する必要があるのではないか。</p>

項目	トップページ	個別見解	総合見解
<p>サイトの使いやすさに 関するポイント</p>		<p>下層ページ同士の横移動ができるナビゲーションがなく不便(T&M webプランナー)</p> <p>別のサイトにリンクするときに、そのことを表現するコメントがない。(T&M webプランナー)</p> <p>トップページへと戻るリンクが無い(「戻る」で戻れない)(T&M webデザイナー)</p> <p>厚生労働省のトップページへ戻る「トップへ」等のボタンが見当たらない。 →見やすい場所にリンクボタンを付けるべき(M1 デザイナー)</p> <p>戻るボタンがなく、IEのツールボタンの戻るボタンでしか一つ前のページに戻れない。(M1 営業・企画)</p> <p>縦長のページなので、トップに戻るリンクが欲しい。(T&M webプランナー)</p> <p>中の階層に入ると「食品安全情報」のトップページに「戻る」だけで、他のページに行くには トップに戻らなければならない。(TM2nd システムプランナー)</p> <p>サイトマップがない。カバーする情報の範囲が広いので、必須と思われる。(IRCC)</p> <p>サイトマップがないためそもそもサイト構造が不明確(T&M webデザイナー)</p> <p>トップページ以外は、総合ナビゲーションが存在しない為に必ず「戻る」ボタンでバックして から情報を探さなくてはならない。(他のカテゴリに遷移できない) (T&M webデザイナー)</p> <p>外部サイトも、同ウィンドウで開くので、戻りたいときに戻りづらい。別ウィンドウを開くように した方が。(T&M webプランナー)</p> <p>外部管轄のページを表示すると「食品安全情報」へ戻ってくるリンクがなく、迷子になる。 (TM2nd システムプランナー)</p> <p>サイト検索機能がない(M1 コピーライター)</p> <p>リンク色と訪問済みリンク色が変わらない(M1 コピーライター)</p> <p>TOPページ、Q&Aコーナーがリンクしているのに、同じ扱いVデザイナーで配置している分野 別施策はリンクしないのはおかしい。(TM2nd 制作進行)</p> <p>「最新のお知らせ」がボタンのようで押したくなるがリンクは張られていない。(T&M web デザイナー)</p>	

項目	チェックポイント	推奨見解	総合見解
マルチメディア・コンテンツに関するポイント	<p>自動的に音声や動画を再生するようなつくりをしていないか？(リンク先で音声を再生することがわかるようにした上で、リンク先ページで音声や動画を再生する。)</p> <p>自動的に音声や動画を再生するページでは、停止/再生/巻戻し/早送りの制御、音声のオン/オフ、ボリュームの調節などを行うことができるか？</p> <p>Flashなどで制作したコンテンツの場合、マウス以外での制御をおこなうことができるか？(タブキーやリターンキーでの移動や実行ができるか？)</p> <p>リンク構成部品(文字や画像)、入カフォームの入カ欄などには、キーボード(Tabキー)を用いた移動ができるか？</p> <p>画面解像度を考慮したページの制作を行っているか(例)対象画面解像度を設定しているか。800×600ピクセル、1024×768ピクセルなど</p> <p>ユーザーのブラウザ環境の設定による文字サイズなどの変更が可能か？</p> <p>ブラウザなどの推奨環境を示しているか？</p> <p>サイト内で使用するプラグインや外部ソフト等を説明しているか？</p> <p>※必要に応じてはそのソフトの入手方法、ダウンロード方法などの説明をしているか？</p>	<p>音声再生などを自動ですコンテンツはほとんどみかけられない。(TM2nd システムプランナー)</p> <p>Flashなどのコンテンツもみかけられない(TM2nd システムプランナー)</p>	<p>flashなどの動画を利用し、リンクボタンの強調、ニュース速報的な情報の強調など、利用者への効果的な情報提供などを進められるのではないか。</p>
ユーザー環境に関するポイント	<p>ブラウザ・解像度などに関する推奨環境を明記すべきではないか？(M1 コピーライター)</p> <p>色使いのルールが不明瞭で、分かりづらい。→無いと思われる(M1 デザイナー)</p> <p>画面はブラウザの表示幅に成りゆきで従うHTMLになっている。(TM2nd システムプランナー)</p> <p>推奨環境は指定していないが、ヴァージョンの低いブラウザでも表現できることを前提としていると考えられる。(TM2nd システムプランナー)</p> <p>txtの拡張子(テキスト書類のまま)が存在していて環境によっては、ページを開覧できない場合がある。(T&M webデザイナー)</p> <p>PDFへのリンクの場合は、その旨を明記してほしい。(T&M webプランナー)</p>	<p>利用環境に関する情報提供を行う必要があるのではないか。</p> <p>各種情報提供もPDFのほうが利用しやすい場合と、excel形式で提供し利用者がデータとして加工しやすくしたほうがよい場合など複数想定し、対応する必要があると考える。</p>	

その他気づいた点
英文サイトに掲載されている内容が中途半端(→英訳の範囲と優先順位を明確にする必要あり。)(IRCC)
一方向的な情報発信に見える(→企業のIRサイトなどに導入されているEメールアラートを設置するなどの工夫があってもよい。)(IRCC)
全体的に普のWEBサイトといった印象で、いかにも古めかしい。)(IRCC)
機能面とともに、見せ方(デザインやチャート・写真などの活用)について改善の余地あり。)(IRCC)
食の安全については、一般消費者にとっても関心が高いので、知識水準にバラツキのあるサイト訪問者への配慮が必要。(→用語集やQ&Aおよび分かりやすい解説の充実化)(IRCC)
国内情報にとどまらない海外動向など情報の多様化も必要。)(IRCC)
各四角の枠は、中に余白が無いため、見づらい。(T&M webプランナー)
トップページは、縦に3分割されているが、その必要がよく分からない。中央のコラムは、情報量が多いため、ページ下に行くほど左右の余白が無駄。また、スクリーンを狭くした場合、文字が非常に読みづらくなる。(T&M webプランナー)
厚生労働省が食品の安全に対してどのような活動をしているのか、するべきなのか、方針やビジョンが見えない。(T&M webプランナー)
「このホームページの探し方」の内容自体、よく解らなかつたです。(T&M webプランナー)
トップページの情報量が多すぎてどのような項目が存在しているのかが一目でわからない。(T&M webデザイナー)
記事へのリンク設定の範囲が不徹底→日付までリンクが貼られているものもそうでないものも存在する。(T&M webデザイナー)
「用語集」などにはナビゲーションが必要と思われる(50言分類になっているので各行毎にアンカーを設定する等)。(T&M webデザイナー)
ページ全体として英数の全角半角の統一などがなされていない模様。(T&M webデザイナー)
ソースに無駄な半角スペースが含まれていることあり(「法令等検索」ページなど)。(T&M webデザイナー)
ページデザインに統一感が無い。(T&M webデザイナー)
「yy/mm/dd」という文字列があります。日付けの表記はyy年mm月dd日と統一したほうがよいと思う。(T&M webデザイナー)
lang属性またはxml:lang属性が存在していないのでプログラムに入れるべきと考えます。(T&M webデザイナー)
スタイルシートの統一性がなく、各ページがバラバラのフォントサイズ、カラーリングになっていて見づらい。(T&M webデザイナー)
情報ポータルサイトであれば、「ユーザーが必要な情報に素早くアクセスできる」ということを考慮し、情報のカテゴリ分けおよび情報カテゴリの入り口(ナビゲーション)の統一することが必要ではないかと思う。(TM2nd システムプランナー)
報告書形式の文章のフォーマットを統一し、文字サイズ、見出し、要約、本文の表現(文字サイズや色使い)など共通性を持たせたほうがよい。ページにアクセスした際に、ユーザーがページの読み方で悩んでしまうのではないかと、という感じがする。(TM2nd システムプランナー)
検索機能については「http://www.mhlw.go.jp/」全体に対するフリーワード以外にも、「食品安全情報」としての検索機能があってもよいのではないかと思う。例1)「食品安全情報」でキーワードを採択し、そのキーワードに関連する情報の検索機能を提供する。例2)用語集を作り、用語の説明およびその用語に関連する情報の検索機能を提供する。 など(TM2nd システムプランナー)
内閣府 食品安全委員会 (http://www.fsc.go.jp/index.html) は色使い、ナビゲーション、情報のグループ化、リンクされている情報の判断などが整備されており、見やすさ、操作しやすさなど評価できる。(TM2nd システムプランナー)
トップページに情報が集約されすぎている。情報を整理し、定型となるメニューを各ページに配置すれば良い。またサイトマップも設置すべき。HTMLも修正が必要だと感じる。(TM2nd webデザイナー)
ページ内に配色が無く、同じ体裁の物が多く現在地が掴みづらい。(TM2nd webデザイナー)
アイコンなどで情報の優先度を付けた方がよい。(緊急情報など)(TM2nd システムプランナー)

平成16年度厚生科学研究費補助金(食品の安全性高度化推進研究事業)
「健康保護を目的とした食に関するリスクコミュニケーションのすすめ方に関する研究」

- 食品製造業におけるリスクコミュニケーション等に関する現状 -

分担研究者 堀口逸子(順天堂大学医学部公衆衛生学教室)

研究要旨

食品製造業関係者のリスクコミュニケーション等に関する現状を把握することを目的とし、事業者向け講習会にて質問紙を調査を実施した。その結果、消費者へ向けた正しい情報伝達はほぼ全員重要と捉えているが、約半数がその自信がなかった。そして現況からの改良の余地があると認識していた。リスクコミュニケーションやリスクマネジメントに関しては、未だ理解は不十分であると約8割が認識しているにも関わらず、資料などが不整備な状況であった。消費者への正しい情報伝達のためには、食品製造業従事者のリスクマネジメント及びリスクコミュニケーションの視点にたった知識やスキルの習得が必要であることが考えられた。

- A. 研究目的
- 食品製造業関係者のリスクコミュニケーション等に関する現状を把握することを目的とした。
- B. 対象と方法
- 日本生活協同組合連合会と取引のある事業者向け講習会にて、リスクコミュニケーションに関する講演開始時に質問紙を配布し、当日講演終了後回収した。
- C. 結果
- 講習会参加者のうち食品製造業関係者は、全体の78.3%の301名であった。その属性では、「品質管理」が58.5%であった。32.2%を占める「その他」の内訳は、「生産・製造」が41.6%、「営業」が40.3%であった。在籍年数については、
- 10年以上が24.0%と最も多く、次いで1年～3年未満23.0%、5年～10年未満21.3%、3年～5年未満18.7%、1年未満13.0%であった。「消費者に向けた情報伝達」では「とても重要」が78.5%を占め、次いで「まあまあ重要」が21.1%であった。消費者に向けた正しい情報伝達の自信では、「まあまあある」が46.2%、次いで「あまりない」が42.6%であった。「十分ある」は7.3%であった。「自社の消費者に向けた情報伝達についての工夫の必要性」では「とても思う」が58.5%、次いで「まあまあ思う」が35.9%で、全体の約94%を占めていた。「自社の精度管理の改善点」ではそれがあると「とても思った」が55.7%、次いで「まあまあ思った」が41.5%で、全体の約

97%を占めていた。講演内容について「職場（関連部署を含む）での共有の必要性」では、「十分思った」が 65.4%、次いで「まあまあ思った」が 32.2%で、全体の約 98%を占めていた。「職場のリスクマネジメントやリスクコミュニケーションの理解」では、「あまり思わない」が 55.0%、次いで「まあまあ思う」が 23.3%で、「ほとんど思わない」は 21.3%であった。

「リスクコミュニケーションに関する資料（書籍など）の有無」では、「あまりない」が 39.1%、次いで「ほとんどない」が 38.1%で、「まあまあある」は 22.4%であった。「リスクマネジメント」に関する資料（書籍など）では、「あまりない」が 41.8%、次いで「ほとんどない」が 35.7%で、「まあまあある」は 22.6%であった。「この会以外のリスクコミュニケーションやリスクマネジメントに関する勉強会の参加経験」では、「ほとんどない」が 47.0%、次いで「あまりない」が 29.7%で、「まあまあある」は 22.0%であった。

D. 考察および結論

消費者へ向けた正しい情報伝達はほぼ全員重要と捉えているが、その自信は約半数がない状況であった。そして現況からの改良の余地があると認識している。リスクコミュニケーションやリスクマネジメントに関しては理解は不十分であると約8割が認識しているにも関わらず、資料など

が不整備な状況であった。消費者への正しい情報伝達のためには、食品製造業従事者のリスクマネジメント及びリスクコミュニケーションの視点にたった知識やスキルの習得が必要であることが考えられた。

E. 健康危険情報

なし。

F. 研究発表

なし。

G. 知的財産権の出願・登録状況

なし。

H. 研究協力

日本生活協同組合連合会虹の会

I. 分析協力

みかんコミュニケーションズ

交流会アンケート

以下の問いに答えてください。

○ あなたの会社は……1. 食品製造業 2. 非食品製造業 3. その他()

○ あなたの担当部署は何ですか。該当するものひとつに○をつけてください。

1. 品質管理 2. 経営 3. その他()

○ 現在の担当部署の在籍年数は何年ですか。該当するものひとつに○をつけてください。

1. 1年未満 2. 1年～3年未満 3. 3年～5年未満 4. 5年～10年未満 5. 10年以上

問1 あなたは消費者に向けた情報伝達についてどう思いますか。

1. とても重要 2. まあまあ重要 3. あまり重要でない 4. ほとんどない重要でない

問2 あなたは消費者に向けて正しく情報伝達できる自信がありますか

1. 十分ある 2. まあまあある 3. あまりなり 4. ほとんどない

問3 貴社の消費者に向けた情報伝達について工夫が必要であると思いますか

1. とても思う 2. まあまあ思う 3. あまり思わない 4. ほとんど思わない

問4 貴社では、精度管理についてまだ改善できるところがありましたか

1. とても思った 2. まあまあ思った 3. あまり思わなかった 4. ほとんど思わなかった

問5 今日の内容について職場(関連部署を含む)で共有する必要があると思いますか

1. 十分思った 2. まあまあ思った 3. あまり思わなかった 4. ほとんど思わなかった

問6 あなたは、リスクコミュニケーションに関する資料(書籍など)を持っていますか

1. 十分ある 2. まあまあある 3. あまりない 4. ほとんどない

問7 あなたは、リスクマネジメントに関する資料(書籍など)を持っていますか

1. 十分ある 2. まあまあある 3. あまりなり 4. ほとんどない

問8 あなたは、この会以外にリスクコミュニケーションやリスクマネジメントに関する勉強会に参加した経験がありますか

1. たくさんある 2. まあまあある 3. あまりない 4. ほとんどない

問9 あなたの職場はリスクマネジメントやリスクコミュニケーションについて十分理解できていると思いますか

1. 十分思う 2. まあまあ思う 3. あまり思わない 4. ほとんど思わない

問10 あなたは以下の問題が自分自身と家族に対してどの程度危険であると思いますか。それぞれ該当する番号ひとつに○をつけてください。

	まったく危険はない	あまり危険はない	ある程度は危険がある	非常に危険がある
○結核	1	2	3	4
○受動喫煙(室内などで他人のたばこの煙を吸わされること)	1	2	3	4
○エイズ	1	2	3	4
○SARS	1	2	3	4
○食物アレルギー	1	2	3	4
○食品添加物	1	2	3	4
○遺伝子組み換え食品	1	2	3	4
○BSE(牛海綿状脳症:狂牛病)	1	2	3	4
○鳥インフルエンザ	1	2	3	4
○魚に含まれる水銀	1	2	3	4
○環境ホルモン	1	2	3	4
○ダイオキシン	1	2	3	4
○C型肝炎	1	2	3	4

問 11 あなたは以下の問題が日本の社会全体に対してどの程度危険であると思いますか。それぞれ該当する番号ひとつに○をつけてください。

	まったく危険はない	あまり危険はない	ある程度は危険がある	非常に危険がある
○結核	1	2	3	4
○受動喫煙(室内などで他人のたばこの煙を吸わされること)	1	2	3	4
○エイズ	1	2	3	4
○SARS	1	2	3	4
○食物アレルギー	1	2	3	4
○食品添加物	1	2	3	4
○遺伝子組み換え食品	1	2	3	4
○BSE(牛海綿状脳症:狂牛病)	1	2	3	4
○鳥インフルエンザ	1	2	3	4
○魚に含まれる水銀	1	2	3	4
○環境ホルモン	1	2	3	4
○ダイオキシン	1	2	3	4
○C型肝炎	1	2	3	4

問 12 あなたは健康の問題に関する報道は、どの程度、見たり、聞いたり、読んだりしますか

- よく見たり読んだりする
- 時々見たり読んだりする
- あまり見たり読んだりしない
- まったく見たり読んだりしない
- わからない

問 13 あなたは食の問題に関する報道は、どの程度、見たり、聞いたり、読んだりしますか

- よく見たり読んだりする
- 時々見たり読んだりする
- あまり見たり読んだりしない
- まったく見たり読んだりしない
- わからない

問 14 あなたは環境の問題に関する報道は、どの程度、見たり、聞いたり、読んだりしますか

- よく見たり読んだりする
- 時々見たり読んだりする
- あまり見たり読んだりしない
- まったく見たり読んだりしない
- わからない

問15 あなたは以下の項目から受けるかもしれない危険に対し、あなたご自身が有効な対策をとることができると思いますか。それぞれ該当する番号ひとつに○をつけてください。

	あまりできない	できない	ある程度できる	できる
○結核	1	2	3	4
○受動喫煙(室内などで他人のたばこの煙を吸わされること)	1	2	3	4
○エイズ	1	2	3	4
○SARS	1	2	3	4
○食物アレルギー	1	2	3	4
○食品添加物	1	2	3	4
○遺伝子組み換え食品	1	2	3	4
○BSE(牛海綿状脳症:狂牛病)	1	2	3	4
○鳥インフルエンザ	1	2	3	4
○魚に含まれる水銀	1	2	3	4
○環境ホルモン	1	2	3	4
○ダイオキシン	1	2	3	4
○C型肝炎	1	2	3	4

問 16 以下の報道に関して信頼できる情報源はどれですか。該当するものひとつに○をつけてください

○健康問題

- 大学・研究所等の専門家の発表
- 国際機関の発表
- NGOなど民間のボランティア機関の発表
- 政府/省庁の発表
- テレビ局が独自に行った調査に基づいた情報
- 新聞社が独自に行った調査に基づいた情報
- 地方自治体の発表
- わからない

○食の問題

1. 大学・研究所等の専門家の発表
2. 国際機関の発表
3. NGOなど民間のボランティア機関の発表
4. 政府／省庁の発表
5. テレビ局が独自に行った調査に基づいた情報
6. 新聞社が独自に行った調査に基づいた情報
7. 地方自治体の発表
8. わからない

○環境問題

1. 大学・研究所等の専門家の発表
2. 国際機関の発表
3. NGOなど民間のボランティア機関の発表
4. 政府／省庁の発表
5. テレビ局が独自に行った調査に基づいた情報
6. 新聞社が独自に行った調査に基づいた情報
7. 地方自治体の発表
8. わからない

問 17 以下の意見に対するあなたの考えをお聞かせください。それぞれ該当する番号ひとつに○をつけてください。

		強く 反対	反対	賛成	強く 賛成
1	政府や権力をもつ人々は、しばしば有害なものについての情報を隠している	1	2	3	4
2	食の輸入規制のような問題についての決定は、国民との話し合いによって行われるべきである	1	2	3	4
3	私は少しでも危険性があるものを使用(利用)してみる気にはならない	1	2	3	4
4	私たちの健康や社会福祉を向上させるためには、高度技術化した社会を作らなければならない	1	2	3	4
5	技術の進歩は自然を破壊するものだ	1	2	3	4
6	私たちの生活の質を向上させるためには、絶えざる経済の成長が必要だ	1	2	3	4
7	健康にとって害があるかないかを決めるのは専門家に任せるべきだ	1	2	3	4
8	食品を原因とした健康被害が発生した場合の責任は政府にある。	1	2	3	4
9	食品を購入する際には、自己責任のもとで食品を選択するべきだ	1	2	3	4
10	快適な生活を維持するためには、ある程度の危険は受け入れなくてはならない	1	2	3	4
11	政府や企業は技術がもたらす危険性を適切に管理できる	1	2	3	4
12	経済を強くするためには、たとえ健康が多少損なわれるようなことがあっても、覚悟をしなければならない	1	2	3	4

問 18 あなたは健康問題に関心がありますか

1. 非常に関心がある
2. やや関心がある
3. どちらともいえない
4. あまり関心がない
5. まったく関心がない

問 19 あなたは食の問題に関心がありますか

2. 非常に関心がある
2. やや関心がある
3. どちらともいえない
4. あまり関心がない
5. まったく関心がない

問 20 あなたは環境問題に関心がありますか

1. 非常に関心がある
2. やや関心がある
3. どちらともいえない
4. あまり関心がない
5. まったく関心がない

問 21 本日の感想などがありましたらご記入ください。

◎ご協力ありがとうございました

属性【食品製造業】

○あなたの担当部署は何ですか。

1 品質管理	176	58.5%
2 経営	28	9.3%
3 その他	97	32.2%
	301	

3.その他の内訳

営業	31	40.3%
研究・開発	7	9.1%
生産・製造	32	41.6%
資材	1	1.3%
品質保証	6	7.8%
	77	

○現在の担当部署の在籍年数は何年ですか。

1 1年未満	39	13.0%
2 1年～3年未満	69	23.0%
3 3年～5年未満	56	18.7%
4 5年～10年未満	64	21.3%
5 10年以上	72	24.0%
	300	

問1 あなたは消費者に向けた情報伝達についてどう思いますか

1 とても重	238	78.5%
2 まあまあ	64	21.1%
3 あまり重	1	0.3%
4 ほとんど	0	0.0%
	303	

問2 あなたは消費者に向けて正しく情報伝達できる自信がありますか

1 十分あり	22	7.3%
2 まあまあ	140	46.2%
3 あまりな	129	42.6%
4 ほとんど	12	4.0%
	303	

問3 貴社の消費者に向けた情報伝達について工夫が必要だと思いますか

1 とても思	176	58.5%
2 まあまあ	108	35.9%
3 あまり思	16	5.3%
4 ほとんど	1	0.3%
	301	

問4 貴社では、精度管理についてまだ改善できるところがあると思いますか

1 とても思	160	55.7%
2 まあまあ	119	41.5%
3 あまり思	7	2.4%
4 ほとんど	1	0.3%
	287	

問5 今日の内容について職場(関連部署を含む)で共有する必要があると思いますか

1 十分思	193	65.4%
2 まあまあ	95	32.2%
3 あまり思	5	1.7%
4 ほとんど	2	0.7%
	295	

問6 あなたは、リスクコミュニケーションに関する資料(書籍など)を持っていますか

1 十分ある	1	0.3%
2 まあまあある	67	22.4%
3 あまりない	117	39.1%
4 ほとんどない	114	38.1%
	299	

問7 あなたは、リスクマネジメントに関する資料(書籍など)を持っていますか

1 十分ある	0	0.0%
2 まあまあある	67	22.6%
3 あまりない	124	41.8%
4 ほとんどない	106	35.7%
	297	

問8 あなたは、この会社以外にリスクコミュニケーションやリスクマネジメントに関する勉強会に参加した経験がありますか

1 たくさんある	4	1.3%
2 まあまあある	66	22.0%
3 あまりない	89	29.7%
4 ほとんどない	141	47.0%
	300	

問9 あなたの職場はリスクマネジメントやリスクコミュニケーションについて十分理解できていると思いますか

1 十分思う	1	0.3%
2 まあまあ思う	70	23.3%
3 あまり思わない	165	55.0%
4 ほとんど思わない	64	21.3%
	300	

問10 あなたは以下の問題が自分自身と家族に対してどの程度危険であると思いますか。

	結核	受動喫煙	エイズ	SARS	食物アレルギー	食品添加物	遺伝子組み換え食品	BSE	鳥インフルエンザ	魚に含まれる水銀	環境ホルモン	ダイオキシン	C型肝炎
1 まったく危険はない	41 13.8%	24 8.0%	50 16.8%	36 12.1%	32 10.8%	27 9.0%	40 13.4%	32 10.7%	40 13.4%	35 11.8%	17 5.7%	20 6.7%	13 4.3%
2 あまり危険はない	156 52.5%	54 18.1%	129 43.3%	122 40.9%	127 42.8%	126 42.1%	146 49.0%	138 46.2%	133 44.6%	152 51.2%	127 42.9%	137 46.1%	118 39.5%
3 ある程度は危険がある	76 25.6%	148 49.5%	77 25.8%	102 34.2%	106 35.7%	124 41.5%	96 32.2%	97 32.4%	99 33.2%	88 29.6%	126 42.6%	111 37.4%	121 40.5%
4 非情に危険がある	24 8.1%	73 24.4%	42 14.1%	38 12.8%	32 10.8%	22 7.4%	16 5.4%	32 10.7%	26 8.7%	22 7.4%	26 8.8%	29 9.8%	47 15.7%
	297	299	298	298	297	299	298	299	298	297	296	297	299

問11 あなたは以下の問題が日本の社会全体に対してどの程度危険であると思いますか。

	結核	受動喫煙	エイズ	SARS	食物アレルギー	食品添加物	遺伝子組み換え食品	BSE	鳥インフルエンザ	魚に含まれる水銀	環境ホルモン	ダイオキシン	C型肝炎
1 まったく危険はない	15 5.1%	6 2.0%	1 0.3%	3 1.0%	3 1.0%	14 4.7%	24 8.1%	15 5.1%	16 5.4%	14 4.7%	7 2.4%	8 2.7%	5 1.7%
2 あまり危険はない	138 47.1%	41 13.9%	30 10.1%	80 27.1%	66 22.3%	116 39.3%	124 42.0%	107 36.1%	105 35.6%	130 43.9%	83 28.1%	100 33.8%	71 24.1%
3 ある程度は危険がある	118 40.3%	181 61.1%	156 52.7%	157 53.2%	161 54.4%	126 42.7%	116 39.3%	132 44.6%	134 45.4%	122 41.2%	152 51.5%	133 44.9%	170 57.6%
4 非情に危険がある	22 7.5%	68 23.0%	109 36.8%	55 18.6%	66 22.3%	39 13.2%	31 10.5%	42 14.2%	40 13.6%	30 10.1%	53 18.0%	55 18.6%	49 16.6%
	293	296	296	295	296	295	295	296	295	296	295	296	295

問12 あなたは健康の問題に関する報道は、どの程度、見たり、聞いたり、読んでいただけますか

1 よく見たり読んだりする	92 30.8%
2 時々見たり読んだりする	182 60.9%
3 あまり見たり読んだりしない	24 8.0%
4 まったく見たり読んだりしない	1 0.3%
5 わからない	0 0.0%
	299

問13 あなたは食の問題に関する報道は、どの程度、見たり、聞いたり、読んでいただけますか

1 よく見たり読んだりする	173 58.1%
2 時々見たり読んだりする	112 37.6%
3 あまり見たり読んだりしない	13 4.4%
4 まったく見たり読んだりしない	0 0.0%
5 わからない	0 0.0%
	298

問14 あなたは環境の問題に関する報道は、どの程度、見たり、聞いたり、読んだりしますか

1	よく見たり読んだりする	78	26.3%
2	時々見たり読んだりする	192	64.6%
3	あまり見たり読んだりしない	24	8.1%
4	まったく見たり読んだりしない	2	0.7%
5	わからない	1	0.3%
		297	

問15 あなたは以下の項目から受けるかもしれない危険に対し、あなたご自身が有効な対策をとることができると思いますか。

	結核	受動喫煙	エイズ	SARS	食物アレルギー	食品添加物	遺伝子組み換え食品	BSE	鳥インフルエンザ	魚に含まれる水銀	環境ホルモン	ダイオキシン	C型肝炎														
1	あまりできない	65	22.6%	39	13.2%	13	4.4%	39	13.4%	26	8.8%	38	13.0%	41	14.0%	38	12.9%	43	14.6%	52	17.7%	64	21.1%	66	21.8%	53	17.5%
2	できない	77	26.8%	64	22.3%	20	6.8%	66	22.7%	31	10.5%	57	19.5%	69	23.5%	74	25.2%	93	31.5%	106	36.2%	140	48.8%	135	47.0%	105	36.6%
3	ある程度できる	133	46.3%	151	52.6%	164	55.6%	154	52.9%	185	62.9%	172	58.7%	156	53.2%	164	55.8%	146	49.5%	118	40.3%	79	27.5%	77	26.8%	125	43.6%
4	できる	12	4.2%	41	14.3%	98	33.2%	32	11.0%	52	17.7%	26	8.9%	27	9.2%	18	6.1%	13	4.4%	17	5.8%	11	3.8%	16	5.6%	10	3.5%
		287		295		295		291		294		293		293		294		295		293		303		303		303	

問16 以下の報道に関して信頼できる情報源はどれですか。

	健康問題	食の問題	環境問題				
1	大学・研究所等の専門家の発表	105	35.7%	94	33.9%	82	29.6%
2	国際機関の発表	65	22.1%	60	21.7%	74	26.7%
3	NGOなど民間のボランティア機関の発表	7	2.4%	13	4.7%	13	4.7%
4	政府／省庁の発表	37	12.6%	44	15.9%	43	15.5%
5	テレビ局が独自に行った調査に基づいた情報	13	4.4%	15	5.4%	13	4.7%
6	新聞社が独自に行った調査に基づいた情報	13	4.4%	9	3.2%	13	4.7%
7	地方自治体の発表	1	0.3%	2	0.7%	2	0.7%
8	わからない	53	18.0%	40	14.4%	37	13.4%
		294		277		277	

問17 以下の意見に対するあなたの考えをお聞かせください。

	食の輸入規制のような問題についての考えは、国産との話し合いによって行われるべきである	政府や権力をもつ人々は、しばしば善なるものについての情報を隠している	私は少しでも危険性があるものを使用(利用)してはならない	私たちの健康や社会福祉を向上させるためには、高度技術を駆使するものだけではない	私たちの生活の意向上させるためには、様々な経済的リスクが必要だ	健康にとって害があるかもしれないかを定めるのは専門家に任せるべきだ	食品を原因とした健康被害が発生した場合の責任は政府にある	食品を購入する際には、自己責任のもとで食品を選択するべきだ	快適な生活を維持するためには、ある程度の危険は受け入れなくてはならない	政府や企業は技術がもたらす危険性を適切に管理できる	経済を速くするためには、たとえ健康が多少損なわれるようなことがあっても、我慢をしなければならない
1 強く反対	51 18.5%	3 1.1%	10 3.7%	3 1.1%	12 4.4%	20 7.4%	12 4.5%	7 2.6%	12 4.4%	26 9.6%	77 28.2%
2 反対	87 31.5%	58 21.3%	89 32.6%	100 36.9%	143 52.4%	156 57.6%	179 66.5%	36 13.1%	109 39.6%	151 55.5%	166 60.8%
3 賛成	105 38.0%	178 65.4%	139 50.9%	147 54.2%	111 40.7%	84 31.0%	72 26.8%	196 71.5%	146 53.1%	93 34.2%	28 10.3%
4 強く賛成	33 12.0%	33 12.1%	35 12.8%	21 7.7%	7 2.6%	11 4.1%	6 2.2%	35 12.8%	8 2.9%	2 0.7%	2 0.7%
	276	272	273	271	273	271	269	274	275	272	273

問18 あなたは健康問題に関心がありますか

1 非常に関心がある	104 37.0%
2 やや関心がある	157 55.9%
3 どちらともいえない	18 6.4%
4 あまり関心がない	2 0.7%
5 まったく関心がない	0 0.0%
	281

問19 あなたは食の問題に関心がありますか

1 非常に関心がある	167 59.4%
2 やや関心がある	106 37.7%
3 どちらともいえない	8 2.8%
4 あまり関心がない	0 0.0%
5 まったく関心がない	0 0.0%
	281

問20 あなたは環境問題に関心がありますか

1 非常に関心がある	83 29.6%
2 やや関心がある	170 60.7%
3 どちらともいえない	24 8.6%
4 あまり関心がない	3 1.1%
5 まったく関心がない	0 0.0%
	280

平成 16 年度 厚生労働科学研究補助金(食品の安全性高度化推進研究事業)
健康保護を目的とした食に関するリスクコミュニケーションのすすめ方に関する研究

食物アレルギーとその表示に関する現状調査 －食品衛生監視員を対象として－

分担研究者 堀口逸子(順天堂大学医学部公衆衛生学教室)

研究要旨

アレルギー表示制度の遵守を監視する食品衛生監視員を対象に、その現状および監視員から見た食品製造販売業者の現状を明らかにすることを目的に、質問紙調査を実施した。昨年度の同様の調査と変化が見られず、食物アレルギーとその表示に関する理解への自信ありも半数に留まっていた。また監視の困難性を認識していた。製造・販売業者の理解度も低いと感じていた。状況に即して制度を見直すことは重要であるが、運用・監視する側の状況が改善されておらず、このままでは制度運営に支障がでることが予測できると考えられた。

A. 目的

アレルギー表示制度は平成 16 年には「食品の表示に関する共同会議」(厚生労働省・農林水産省主催)において議論され、12 月には厚生労働省の通知が改正された。食品衛生監視員のアレルギー表示に関する現状を把握することを目的として調査を実施した。

B. 対象と方法

平成 17 年 2 月、関東および九州の某県 2 県で行われた食品衛生に携わる行政職員向け講習会において、受付にて調査票を配布し、アレルギー表示の研修後回収した。自由回答は、KJ 法により分類した。

C. 結果

参加した 61 名の対象者から回答が得られた。行政での勤務年数は 10 年以上が 66%と最も多く、次いで 5 年～10 年未満が 16%、1 年～3 年未満が 11%であった。回答者全体のう

ち、食品衛生監視の経験年数は 10 年以上が 29%と最も多く、次いで 3 年～5 年未満および 5 年～10 年未満が 24%であった。回答者全体のうち、食品衛生監視の業務を担当している人は半数で、そのうち、専任が 58%、兼任が 42%であった。

テーマ、構成、講演の演者、講演の内容ともに、半数以上が「とてもよかった」と答えた。「アレルギー表示の理解の自信」では「十分ある」(0%)もしくは「まあまあある」(44.8%)と回答した人の数は、「あまりない」(46.6%)、または「ほとんどない」(8.6%)と回答した人の数を下回っていた。「ほとんどない」と回答したのは、経験年数が 5 年未満の参加者であった。「食物アレルギーの理解の自信」では、「十分ある」(0%)もしくは「まあまあある」(46.6%)と回答した人は、「あまりない」(46.6%)、または「ほとんどない」(6.9%)